

## 1. 活動の概要

7月3日(木)、松江市立竹矢小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。まずは職員が竹矢小周辺の遺跡についてパワーポイントを使って説明しました。大仏の造られた奈良時代、竹矢小の近くは出雲国の中心地であり、今の島根県庁周辺のように国庁や国分寺など出雲国の主要な施設が集中していたということを知ってびっくりしたり、感心したりしていました。また当時、聖武天皇がなぜ国分寺や大仏を作ろうと考えたのかを解説し、加えて大仏の形、場所、制作期間などを尋ねる大仏クイズ(ワークシート)を使用して、パネル体験への導入としました。

次に、大仏パネル体験を行いました。もう一つのクラスより早く完成させようと意気込んでおり、全員で協力して取り組み、2クラスとも時間内に完成させることができました。完成したパネルを2階から眺めたり、大仏の上に乗って写真を撮ったりして、実際の大きさを体感していました。

## 2. 活動の様子

### 1)竹矢小周辺の歴史について知る



「奈良時代の竹矢小周辺の様子」



「なぜ・どうして大仏をつくったのか？」

### 2)古代体験活動～大仏パネル～



パネルづくりスタート！



完成までもう少し



大仏に乗って記念撮影

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)児童の皆さんから…

- ・本物の奈良の大仏を見てみたい。もっといろいろな大仏を見てみたい。
- ・大仏の重さが知りたい。どうやって作ったかを知りたい。なぜ金色だったのかを知りたい。
- ・島根のもののパズルも作ってみたい。

#### 2)担任の先生から…

- ・6年生がちょうど歴史の学習を始めたところなので、意欲の高まりを感じた。
- ・今回「大仏クイズ」があり、子どもたちも導入として興味を持てたと思う。
- ・竹矢の土地柄から、歴史について学ぶことが多い。このような機会を大切にしたい。今回の大仏づくりが国分寺などの学習につながっていく。

#### 3)古代文化センターから

小学校ではまだ奈良時代の授業に入っていないとのことで、説明を理解してもらえるか心配でしたが、これからの授業の予習ということで真剣に聞いてもらえました。とりわけ当時の竹矢小周辺が出雲国の中心地であり、その関係の遺跡が数多く残っていることについては、深い興味を持ってもらえたようでした。

大仏クイズでは、実際の大仏を制作するのにかかった人数や期間を理解してもらい、大仏パネル作成の導入とし、パネル作成によって追体験してもらいました。大仏パネルでは全員が積極的に作業をおこない、予定よりも短時間で完成させることができ、とても感心しました。完成したパネルは全員で2階から眺めて、その大きさを感じてもらいました。これほどの大仏を作ろうと思った奈良時代はどのような時代だったのか、考えてもらうきっかけになったのではないかと思います。後日、近隣の奈良時代の遺跡に足を運んだり、いつか本物の奈良の大仏をみた際に、今回の活動を思い出してもらえれば幸いです。